

第46回総選挙に向けて国際婦人年連絡会緊急アピール

私たち国際婦人年連絡会は国連に呼応し、「平等・開発・平和」の実現に向けて、超党派で37年間にわたり、男女平等参画社会を実現するために活動してまいりました。

来たる12月16日の総選挙に際し、全政党・会派に対して男女平等参画社会形成に逆行することなく、実効ある施策を推進するようアピールします。

【現状認識】

10月に公表された世界経済フォーラム(WEF)によるジェンダー・ギャップ指数は、世界135カ国中101位で、前年の98位からさらに位置が下がりました。加えて、ジェンダー・バックラッシュの再来を危惧する言動もあります。

このたびの総選挙は、原発事故による放射能、経済政策など、極めて厳しい政治課題があり、その参画の場に女性が少ないのは誠に遺憾であります。総選挙を契機に女性たちの民意を活かすことは真の民主政治です。

12月16日の総選挙にあたっては、各政党・党派の公約を見極め、男性有権者より約347万人も多い女性の参政権行使として、1票を大切に投票しましょう。

よって、下記の重要事項についてアピールいたします。

【私たちの提言】

- ・憲法に規定された平和・人権を守るために、9条、25条をはじめ憲法を暮らしに活かし、誰もが人間としての誇りを持って生きていくことのできる日本社会をつくること
- ・平和を脅かす軍備の増強はしないこと
- ・男女平等参画社会形成を推進するため、一票の格差を是正し、多様な民意を反映する選挙制度を実現すること
- ・各政党・会派は、政治参画を男女平等にするために、比例代表名簿作成に当っては、男女交互名簿を採用し、議員の男女格差を是正する方策をとること、
- ・基本的人権、民主政治、平和主義を明記した憲法を守ること
- ・女子差別撤廃条約に基づき、選択的夫婦別姓制度導入、婚外子の相続差別廃止など、民法改正の早期実現を行うこと
- ・大きな被害を受けた東日本の原発事故を教訓に、将来をにんう子どもたちを守るために原発稼働ゼロを実現する。そのためにあらゆる政策と市民力を集中すること
- ・公教育の管理統制を止め、子どもや教職員がのびのびと学べるために、教育に自由な環境を充実すること
- ・少子・高齢社会にあって男女平等参画社会の形成を促進すること
- ・非正規労働者の処遇改善、男女間賃金格差の是正をはかるとともに、両立支援策やポジティブアクションを推進し、雇用における男女平等の実現をめざすこと
- ・女性や子ども、高齢者の貧困状況を解消すること

以上

2012年12月5日

国際婦人年連絡会（全国組織女性NGO37団体加盟）

世話人

橋本 葉子

實生 律子

山口みつ子

連絡先

メールアドレス

iwylg-i@nifty.com